

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスMEGUの家		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小集団で個に応じた支援を行っている。 集団活動と個別活動(課題)を区別し、児童に合わせた療育を行っている。 児童のその日の様子に応じて臨機応変に対応している。	・集団で行う感覚遊びや粗大運動、個別対応が可能な健康や生活に即した療育など、5領域を意識してそれぞれの内容に応じた支援を行っている。	・特性に応じたチーム分けなどを行い、さらにきめ細かい療育を行ってきたい。
2	・こまめに記録・振り返りを実施し、反省点や課題を出し合い、職員間で情報共有しながら次回の療育のに活かすことができる。	・療育内容や児童の様子を日々記録し、全職員が情報共有と共通理解できるようにしている。	・意見の出しやすい雰囲気を作ることを心掛け、よりよい支援へつなげることができるようにする。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・玄関先に階段があり、安全面については慎重にならざるを得ないが、声掛けなどにより怪我や事故につながらないように十分配慮している。	・物理的な問題であり、改善は難しい。	・職員間で連携し、十分に声掛けなどを行っている。 屋内でも、段差や角には怪我防止の為にシールを貼ったりするなど配慮している。
2	・子どもに対する家族の対応力向上のための「ペアレントトレーニング」等や家族が参加できる研修の場の提供及び情報提供が不十分である。	・保護者からの個別相談に対するアドバイスや助言はできているが、保護者全体を対象とした研修や情報提供の取り組みはできていない。	・市等とも連携し、研修等の情報提供を行ったり、事業所としても保護者同士の情報交換の場を持つ回数を増やすなどして、子どもに対する家族の対応力向上につなげていく。
3	・保護者の方への非常時等への対応に対する周知・発信が不十分である。 訓練実施後の発信不足。	・防災への取り組み、緊急時の対応も作成し、訓練等も行っているが、周知が不十分である。	・訓練実施後は、連絡帳に記載したり定期的なお便りにて情報提供を行っているが、周知が不十分である為、さらに年間計画としてお便りに明記したり送迎時にお伝えするなどして周知徹底に努めていく。